

子どもたちの笑顔を傘にプリントする「笑顔の傘」の制作を続けている名古屋市出身のアートディレクター水谷孝次さん(59)による撮影会が24日、岐阜市藪田南の県民ふれあい会館であった。

水谷さんはこれまで貧困に苦しんだり、災害に遭ったりした世界30カ国を訪れ、子どもの笑顔を撮影。人々の心を幸せにしようと直径120㍍の傘いっぱいにはプリントして展示してきた。

撮影会には岐阜市の児童養護施設「日本児童育成園」で過ごす4～12歳の18人が参加。水谷さんは、はに

かむ子どもたち1人1人に「にっこりだよ。笑って笑って」と優しく声をかけ、次々とシャッターを切った。

撮影が終わった後、水谷さんがこれまでに作った笑顔の傘を紹介するイベントも開催。同園の子どもたちやふれあい会館の利用者ら40人が並んで傘を広げると、世界各地の笑顔が一齐に現れた。

参加者の1人は「傘の笑顔に負けないように思い切り笑いました」と声を弾ませていた。撮影会の写真は今後プリントし、市内で展示する予定。
(松山祥子)

アートディレクター・水谷さん 岐阜で児童らの撮影会

一齐に開いた
「笑顔の傘」
＝岐阜市藪田
南の県民ふれ
あい会館で



交通遺児ら交流
「励ます会」が
名古屋で大会
交通事故で親を失っ
た子どもを支援する

笑顔
いっぱい
傘
満開



発行所 中日新聞社
名古屋市中区三の丸一丁目6番1号
〒460-8511 電話 052(201)8811